

第1回 恵那南地区中学校あり方検討委員会 会議録

・日時 平成26年6月6日（金） 19：30～

・会場 岩村振興事務所 大会議室

・出席者 小中学校代表 足立篤美、丸山優

地域協議会代表 勝川哲男、大庭勝徳、阿部道長、三宅勝継、鈴木峰夫

自治連合会代表 西尾公男、西尾忠昭、中根貞好、大嶋和司、山内忠良

中学校PTA代表 榎本錦也、成瀬和男、成瀬功一、大島成通、田之上和代

小学校PTA代表 吉村政則、山本浩嗣、大内鉄平、堀靖広

保育園保護者会代表 山本純、小木曾守、丹羽英樹

事務局 勝川甲子、水野教正、市川新祐、西尾克子、梅村浩三、市川篤励、山田耕司

教育委員会 鈴木隆一、大畑雅幸、小林規男、伊藤勝彦

・欠席者 保育園保護者会代表 澤野繁紀、中垣野歩、大島孝介

・委員会内容

1. 開会挨拶 教育長
2. あり方検討委員会設置要綱について 資料に基づき説明
3. 委嘱書交付 教育委員長より各委員へ
4. 教育委員会への提言の依頼について 資料朗読
5. 委員自己紹介 名簿順で各委員自己紹介
6. 議事

事務局 : 議事に入ります。

(1)委員長及び副委員長の選任について

要綱第4条により委員長、副委員長を選出

選出の方法はどのようにしたらいいでしょうか。

委員 : 事務局は選任の案はあるのか。

委員 : 中規模学校の関係の方が委員長をやられるのがいいのではないか。

事務局 : 事務局の案は、地域との関わりが大きいため地域協議会の方から委員長、自治連合会の方から副委員長さんを選出していただいてはどうか。

委員：異議なし

(休憩)別室において、地域協議会、自治連合会代表で選出

事務局：(再開)

委員長には、上矢作地域協議会長 鈴木峰夫様、副委員長には、明智自治連合会長 中根貞好様に決まりましたが、そのほかの委員の皆さんご承認いただけますか。

委員：異議なし

- ・委員長就任のあいさつ
- ・副委員長就任のあいさつ

委員長：これより議事に入ります。

(2) これまでの取り組みについて、事務局より説明

事務局：(2) これまでの取り組みについて

別紙「恵那南地区中学校の再編について」資料に基づき説明

委員長：質疑に入ります。ご意見ございませんか。

委員：明智小学校と吉田小学校は統合してよかった。中学校で一緒になると不登校になりやすかった。統合してのメリットもあるが、不登校等のケアを考えなければいけない。特に小さな学校から入学すると揉まれる。社会性がついても、不登校になってしまっただけでは問題である。小学校から同じ顔ぶれではそういう問題は起こらず、中学校生活が有意義なものになると思う。中学校の統合はデメリットが多いのでデメリットを掘り出してから検討してはどうか。

教育次長：不登校等は予想されるが、長期的なものではなく、一時的なものだと思う。小さな学校から入学して一時的なカルチャーショックはあると思う。クリアできる指導、対応をしていかなければいけないと考えている。

委員長：保護者の意見、心配事はたくさんあると思うので、そういった話をしてほしいと思う。

教育長：事例は沢山ある。ケアは必ずしていくが、心配だから統合はしない、心配だけど統合するのか、判断は非常に難しいが皆さんにご意見をいただきながら協議をしていただきたい。

委員：市内では恵那北中の統合を行った実績があるが、北中校区でも南地区と同じような人口減少の傾向があると思うが、北中の今後の展望はどのように考えているの

か。

教育長 : 北中は、創立18周年、開校時は学年2クラスであったが、現在は、学年単学級になっている。今後は距離的な問題や地域の方の考え方がどうなるのか、また、創立20周年には議題になるのではと思っている。

委員長 : 校長としての経験談をお聞かせください。

委員 : 統合した地域の子どもを見たが、子どもたちは非常に元気で広がりができる。子どもは順応性がある。心配したことはなかった。

委員長 : 吉田小と明智小の統合を成し遂げられた明智町地域協議会長さんはどうでしょうか。

委員 : 統合に関しては、PTAの協力や地域の方の意見を聞きながら様々な事を行った。通学関係では、立派なバスの待合所ができて、子どもたちも安心してバスを待てるようになった。今は心配な声はないが子どもたち意見を確認したいと思う。

委員長 : そのほかありませんか。

委員 : 外枠の話だけでなく、こういう教育をしたいから統合するという中身の話をしてほしい。こうしたいから、こういう規模でやると良いということが決まっていない。こういう規模だとやりやすいだけでは心配だと思う。串原は小人数だが、地域に根付いたふるさとを大事にする教育を誇りに思って卒業していく。地域を思う子どもが育っている。こういう教育が後々の地域を大事にいていくのだと思う。主体性の教育と言われたが、小人数だと自分達がやらないと回っていかないという状況であるため、主体性を持っていると思う。

教育長 : 主体性と社会性を育てる教育をやりたい。この後の具体的方策は各中学校で今も日常の教育活動、行事等を通じて行っているのが手段である。串原の中山太鼓の継承等は、もし統合という事になれば何らかの形で学校教育の中に取り入れていくよう考える。その1つ、2つで子ども達の全教育活動をすべて申し上げていることにはならない。共通に行うことが増えている中で、100%独特の教育を取り入れていくことはない。

委員長 ; そのほかにご意見はございませんか。

次回は、地域の問題点など議論を深めたいと思う。

次に議題(4)年間事業計画(案)に入ります。

事務局 : (4) 年間事業計画 (案) について 資料に基づき説明

教育長 : 統合ありきの考えではない。いくつか統合の案があると思う。提言は出来上がりのひな形に入れるつもりはない。全くの白紙の状態である。進捗状況の段階で方向を示すだけかもしれない。事務局は理想を掲げているだけであるので皆さんのご意見を伺いたいと思う。

委員長 : 委員会では委員の意見を出していただきたいと思う。

次に議題 (5) 現地視察について、事務局、説明をお願いします。

事務局 : (5) 現地視察について 資料に基づき説明

委員長 : 課題や将来の展望を持って視察に行きたいと思う。

次に (6) その他に入ります。

事務局 : (6) その他 第3回の開催日を確認

8月26日 午後7時30分 岩村振興事務所大会議室

委員長 : 以上で本日の議事は終了いたします。

21:04 終了